

## 令和7年度 高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会の実施状況について

## 1 在宅医療・介護等連携推進協議会、部会の開催

	日時	会場	協議事項(予定含む)
第1回 部会	7月9日(水) 19:30~21:00	高岡市保健センター 3階講義室	・令和7年度 第1回高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会の報告・協議事項について
第1回 協議会	7月30日(金) 19:00~20:00	高岡市保健センター 3階講義室	(1)第8次医療計画における在宅医療の体制について (2)令和7年度 高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会の進め方及び各ワーキングの方向性について (3)高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会活動体系図について (4)高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会 各ワーキング部会の令和6年度の実施状況及び令和7年度実施計画について (5)多職種情報共有ツールについて(情報共有ワーキング) (6)「人生いきいきノートアプリ」について(普及啓発ワーキング)
第2回 部会	10月16日(木) 19:15~20:30	高岡市役所 5階リモート会議室	・高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会活動体系図について
第3回 部会	令和8年2月9日(月) 19:15~20:45	高岡市役所 803 会議室	・令和7年度 第2回高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会の報告・協議事項について ・高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会活動体系図について
第2回 協議会 (予定)	令和8年2月18日(水) 19:00~	高岡市役所 802 会議室	(1)高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会・部会・ワーキングの令和7年度の実施状況及び令和8年度実施計画(案)について (2)事業評価について

## 2 各ワーキングの開催(資料No.1-3~6 参照)

## (1)在宅支援ワーキング

資料No.1-3

多職種を対象とした研修会の企画・運営等を行った。

## (2)情報共有ワーキング

資料No.1-4

高岡多職種ネットを活用した研修会の企画、多職種共通の情報共有ツールについての検討を行った。

## (3)普及啓発ワーキング

資料No.1-5

ACP等の普及啓発についての検討、在宅医療・介護・障害福祉サービスの住民への周知についての検討を行った。

#### (4)在宅医療を担う医師確保等の検討ワーキング

資料No.1-6

在宅医療を担う医師を確保するため、在宅医療の現状を把握するためのアンケートの実施や在宅医師確保のための解決策について検討を行った。

### 3 研修会の開催

	日程	場所	参加者数	内容
第1回	10月2日(木) 19:15~20:30	高岡市役所 802会議室 ※集合形式	70名	(1)高岡市内における在宅看取りの現状について (2)事例紹介 「在宅医療におけるACP~多職種連携による在宅看取りの現状~」 (3)意見交換 「意思決定支援の進め方について」
第2回	12月3日(水) 19:15~20:15	高岡市役所 802会議室 ※集合形式	54名	(1)「バイタルリンクとラインを併用した患者家族との情報共有」 (2)事例提供「バイタルリンクを活用した家族を含めた情報共有について」 (3)意見交換 ・「ICTツールを活用した情報共有の課題について」 ①専門職のみでの情報共有 ②家族を含めた情報共有 ・「高岡多職種ネットを活用し効果的な多職種連携を行うための取り組みについて」
第3回	2月4日(水) 19:15~20:30	Zoom開催	83名	『誤嚥性肺炎の予防について』 (1)嚥下機能の観点から (2)口腔内の衛生管理の観点から

### 4 アンケート調査の実施

#### (1)終活の取組状況に係る市民アンケート調査

参考資料 No.3

- ①目的 市民の終活の取組状況を把握することで、今後のACPの推進に反映させることを目的に実施
- ②実施期間 令和7年7月1日~8月31日
- ③実施方法 TAKAOKAアプリから回答
- ④調査対象者 TAKAOKAアプリをダウンロードしている18歳以上の市民
- ⑤調査内容 終活の取組状況を把握するための設問、終活に取り組んでいない理由を把握するための設問
- ⑥回答者数 663人

## 5 普及啓発の実施

日程	内容
7月1日～8月31日	「TAKAOKA アプリ」による終活の取組状況に係る市民へのアンケート調査実施
11月	11月30日の「いい看取り・看取られ『人生会議』の日」に合わせて、市公式LINEや広報紙で「人生会議」の普及、「人生いきいきノート」の紹介
11月30日(日)	高岡市民健康フォーラムでの健康づくり、終活をテーマにした講演(※1)、ブース設営(※2)、「人生いきいきノートアプリ」(12月1日～公開)の紹介等 参加者数:265人
令和8年1月	広報紙で、「人生いきいきノートアプリ」について紹介
年間通じ	長寿福祉課、地域包括支援センターによる人生いきいきノートの配布、人生会議の普及・啓発 健康増進課による健康づくり出前講座「自分らしく生き抜くヒント—人生会議とは—」の開催

(※1) 演題「健康づくり、そして終活 —人生の最期まで自分らしく過ごすために—」

講師 医療法人社団ナラティブホーム 理事長 佐藤 伸彦 氏

(※2) ・薬剤師による健康機器を用いての健康相談 (高岡市薬剤師会)

- ・体力測定・リハビリ相談 (富山県理学療法士会)
- ・フレイル・認知症チェック、予防のための情報提供 (富山県作業療法士会)
- ・飲み込みや聞こえのチェック・相談 (富山県言語聴覚士会)
- ・緩和ケアってなあに (高岡医療圏緩和ケア認定看護師会)
- ・「人生いきいきノート」配布等 (市長寿福祉課) 等

**協議会等での意見や把握された課題と対応状況**

	主な意見、課題	対応状況
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価指標を各ワーキング部会で検討する必要がある。</li> <li>・プロセス評価、アウトプット評価も大切に、実施した過程についても評価していくとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療・介護等連携部会で活動体系図及び指標について検討した。</li> <li>・活動体系図をもとに、引き続き評価していく。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価指標の「ACPに関する理解度」について、分母が市民ではなく、TAKAOKA アプリを活用している人のみであり、非常に偏っている。指標にするのであれば、どの程度の市民が、ACPについて記載したことがあるか等のアンケートを取った方がよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、実施している TAKAOKA アプリを活用した、「終活の取組状況」の調査結果と併せて、第 10 期高岡市高齢者保健福祉計画・高岡市介護保険事業計画の策定に向けた調査の 1 つである「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」にて聴取予定。</li> </ul>
3	各ワーキング部会で出た意見を協議会で協議するには、各ワーキング部会の内容の把握が必要。	各ワーキングの議事録を協議会、部会、ワーキング委員に共有した。
4	県の会議で、DPC ビックデータを使用した高岡医療圏の予測値の紹介があり、誤嚥性肺炎、骨折の患者が増えるとのことであった。肺炎、骨折は予防可能なため、この協議会で手立てを考えていくことが必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 7 年度第 3 回在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係る研修会にて、誤嚥性肺炎の予防をテーマに開催した。</li> <li>・その他のテーマについては、次年度以降、計画予定。</li> </ul>
5	入退院時に、どの職種でもわかるような情報共有ツールがほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有ワーキングにて、多職種共通の情報共有ツールについての検討を行った。</li> <li>・多職種共通の情報共有ツールの内容・周知については、次年度検討予定。</li> </ul>
6	情報共有ツール（案）について、ケアマネジャーや医療機関側の意見を聴取した結果、このツールを入院時情報提供書として活用することは難しいとの意見があった。	在宅医療・介護・障がい福祉関係者が対象者の病状や生活環境等の変化において情報共有・連携が必要な場合に活用するツールの 1 つとして検討していく。
7	<p>ACP の仕組みを作っていくこと、若いうちから考えていくことが大切である。</p> <p>ACP について、専門職と市民への普及が大切。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12 月 1 日より、TAKAOKA アプリ内に「人生いきいきノート」機能を追加。</li> <li>・「人生いきいきノートアプリ」の住民への周知方法については、次年度検討予定。</li> </ul>
8	退院後の医療や在宅介護サービスの内容や手続きについて市民に分かりやすく示してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 8 年 4 月より、市公式ホームページ内に、在宅医療、介護、障がい福祉サービスについて紹介する「ポータルサイト」を開設予定。</li> <li>・「ポータルサイト」の住民への周知方法については、次年度検討予定。</li> </ul>

## 令和8年度 高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会の事業計画（案）について

## 1 在宅医療・介護等連携推進協議会、部会の開催

	日程	協議事項(案)
第1回 部会	5月	・令和8年度第1回高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会の進め方について (1) 高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会について (2) 令和8年度実施計画及び部会・ワーキング部会実施計画について (3) 評価指標の状況について
第1回 協議会	5月	(1) 令和8年度実施計画及び部会・ワーキング部会実施計画について (2) 評価指標の状況について
第2回 部会	2月	・令和8年度第2回高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会の進め方について (1) 令和8年度実施状況及び課題の整理 (2) 令和9年度の実施計画(案)について
第2回 協議会	2月	(1) 令和8年度実施状況及び課題の整理 (2) 令和9年度の実施計画(案)について

## 2 各ワーキング部会の開催（資料No.1-3～6 参照）

## (1)在宅支援ワーキング

資料No.1-3

多職種を対象とした研修会の企画・運営等の検討を行う。

## (2)情報共有ワーキング

資料No.1-4

高岡多職種ネットを活用した研修会の企画、多職種共通の情報共有ツールの検討を行う。

## (3)普及啓発ワーキング

資料No.1-5

ACP等の普及啓発についての検討、在宅医療・介護・障害福祉サービスの住民への周知について検討を行う。

## (4)在宅医療を担う医師確保等の検討ワーキング

資料No.1-6

在宅医療を担う医師を確保するため、在宅医確保のための解決策について検討を行う。

## 3 研修会の開催

	日程	内容(案)
第1回	9月	多職種事例検討会（テーマ：大腿骨頸部骨折地域連携パスについて（※））
第2回	12月	高岡多職種ネットを活用した事例について
第3回	2月	未定（在宅支援ワーキングにて検討）※オンラインにて開催

※テーマ(案)：転倒骨折予防、ACP(意思決定支援)、災害時の連携等

※地域連携パス…疾患ごとに標準的な診療計画を立て、急性期病院から回復期病院、そして自宅での療養まで、複数の医療機関が協力して患者を支えるシステム

#### 4 普及啓発の実施

- ・「人生いきいきノート」及び「人生いきいきノートアプリ」の普及
- ・市広報媒体等を活用した在宅医療・介護・障害福祉サービスの住民への周知
- ・ACP等についての普及啓発（出前講座等）

#### 5 アンケート調査の実施

- (1) 第10期高岡市高齢者保健福祉計画・高岡市介護保険事業計画の策定に向けた調査
  - ①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
  - ②在宅介護実態調査
  - ③地域包括支援センター調査
  - ④居宅介護支援事業所・小規模多機能型居宅介護事業所・看護小規模多機能型居宅介護事業所調査
- (2) 終活の取組状況に係る市民アンケート調査（TAKAOKA アプリから回答）

高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会 在宅支援ワーキング部会  
令和7年度の実施状況及び令和8年度実施計画（案）

### 1 目的

在宅医療・介護等の提供体制の構築推進（連携強化、業務効率化、災害対応等）や、在宅医療・介護についての知識や技術向上を図る。

### 2 活動方針

- (1) 医療・介護等の連携推進や業務効率化、人材確保に向けた周知啓発の検討を行う。
- (2) 医療・介護関係者等の相互の役割・特徴等の理解を深めるとともに、在宅医療や介護の知識・技術向上に関する研修について検討する。

### 3 指標

内容	実績
高岡多職種ネットにおける職能団体の情報共有グループ数	19件(R7.12月末現在)
高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係る研修会参加者数	R7 第1回 70名 第2回 54名
連携をしやすいと感じる多職種の人の割合（「在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係るアンケート調査」における質問「多職種、他機関との連携は、円滑にできていると思いますか。」に、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した人の割合	70% (R6)

### 4 会議の報告

多職種を対象とした研修会の企画・運営（年3回）を行った。

	日時	会場	協議事項
第1回	6月25日(水) 13:30~14:30	高岡市役所 8階研修室	(1) 令和6年度活動報告について (2) 令和7年度活動計画について ・在宅医療や介護等の相互理解や資質向上のため、多職種の研修会を企画する。 (3) 令和7年度 研修会計画について
第2回	9月3日(水) 13:30~14:30	高岡市役所 704会議室	(1) 第1回研修会の企画について ・在宅の看取りでのACPの活用事例を紹介、グループワークを行うこととなる。 (2) 第3回研修会の企画について ・「誤嚥性肺炎の予防」について、歯科保健の観点と嚥下機能の観点からの講義をお願いすることとなる。
第3回	12月3日(水) 13:30~14:30	高岡市役所 703会議室	(1) 令和7年度 第1回 高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係る研修会についての報告 (2) 令和8年度の計画について（別紙参照）

## 5 会議の予定

	日程	協議事項(案)
第1回	6月	(1) 活動計画の検討 (2) 令和8年度 研修会のテーマについて
第2回	8月	(1) 研修会の具体的な進め方の検討 (2) 課題の解決に向けての協議
第3回	12月	(1) 指標の評価 (2) 次年度の計画の方向性の検討

**高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会 情報共有ワーキング部会**  
**令和7年度の実施状況及び令和8年度実施計画（案）**

### 1 目的

日常の療養、急変時、入退院時、看取りの4場面及び災害時における連携ルールや手順等の理解を深め、医療・介護・障がい関係者等の情報共有を推進する。

### 2 活動方針

- (1) 高岡多職種ネットの普及啓発を図り、システム利用者間で情報共有・連携を行うことで、より対象者の状態に応じた医療・介護・障がい福祉サービスを提供する。
- (2) ICTによる業務効率化により、医療・介護・障がい等従事者の負担軽減を図る。
- (3) 入退院時（病院から在宅、在宅から病院への引継ぎ）等、医療・介護・障がい関係者の連携がより円滑となるよう、連携のためのルールや情報共有の手順等に係る手引きを策定する。

### 3 指標

- (1) 高岡多職種ネット登録施設数、利用者数、患者登録数

	登録施設数	利用者数	患者登録数
令和6年度当初	180 施設	800 人	417 件
令和7年3月31日現在	278 施設	1,147 人	637 件
令和7年12月31日現在	305 施設	1,242 人	822 件

- (2) 高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係る研修会参加者数

	参加者数
令和6年度	100 人（オンライン）
令和7年度	54 人（対面）

- (3) 高岡多職種ネットを活用することで多職種連携が効果的に図れていると思う人の割合（「在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係るアンケート調査」における質問「多職種ネットを活用することで、多職種連携が効果的に図れていると思うか。」に、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した人の割合

	割合
令和6年度	92%
令和7年度	—

- (4) 研修会に参加して理解が深まったと思う多職種の人割合（「高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係る研修会参加者アンケート」における質問「研修会に参加して理解が深まりましたか。」に、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した人の割合

	割合
令和6年度	88.9%
令和7年度	94.1%

- (5) 多職種共通の情報共有ツール導入後の多職種の人満足度

	満足度
令和6年度	—
令和7年度	—

#### 4 会議の報告

高岡多職種ネットを活用した研修会の企画、多職種共通の情報共有ツールについての検討を行った。

	日時	会場	協議事項
第1回	6月18日(水) 13:00~14:00	高岡市役所 704 会議室	<p>(1) 令和6年度実施状況及び令和7年度情報共有ワーキングの活動計画(案)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に引き続き、高岡多職種ネットの普及啓発に向けた取り組みを推進する。</li> <li>・医療、介護、障がい福祉関係者の連携がより円滑になるよう、多職種共通の情報共有ツールを作成し、活用について周知を行う。</li> </ul> <p>(2) 多職種共通の情報共有ツール作成について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記入項目の内容について整理(基本情報、障がい情報、身体・精神状況)。</li> <li>・第1回高岡市在宅医療・介護等連携部会及び協議会、高岡市介護支援事業者部会役員会、総合病院地域連携室、指定特定相談支援事業所において、ご意見をいただき、完成後、多職種に周知していく。</li> </ul> <p>(3) 第2回高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係る研修会(高岡多職種ネットの活用事例紹介)の内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい分野において高岡多職種ネットを活用し連携した事例もしくは試験的に連携した事例報告ができないか検討する。</li> </ul>
第2回	10月8日(水) 13時~14時	高岡市役所 5階リモート会議室	<p>(1) 多職種共通の情報共有ツールの作成について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネジャー用とその他の職種(障がい分野など)用の2種類を作成する方向で進める。</li> </ul> <p>(2) 第2回 高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係る研修会(高岡多職種ネットの活用事例紹介)の内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークについて、高岡多職種ネットに限らないICTツールでの情報共有や専門職のみで情報共有する場についてをテーマとした。</li> </ul> <p>(3) 高岡多職種ネットを活用した家族を含めた情報共有について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・厚生連高岡病院緩和ケア病棟において富山大学附属病院との共同研究用に活用しているバイタルリンクの運用方法や家族を含めた情報共有の課題について整理した。</li> </ul>
第3回	令和8年1月9日 (金) 13時~14時	高岡市役所 703 会議室	<p>(1) 第2回 高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係る研修会(高岡多職種ネットの活用事例の紹介)について(報告)</p> <p>(2) 多職種共通の情報共有ツール作成について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネジャーや医療機関側の意見を聴取した結果、このツールを入院時情報提供書として活用することは難し</li> </ul>

			<p>く、在宅医療・介護・障がい福祉関係者が対象者の病状や生活環境等の変化において情報共有・連携が必要な場合に活用するツールの1つとして検討していく。</p> <p>(3) 令和8年度計画について（下記参照）</p>
--	--	--	--

## 5 会議の予定（案）

	日 時	協議事項
第1回	6月下旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動計画の検討</li> <li>・多職種共通の情報共有ツールの内容・周知検討</li> <li>・課題解決に向けた協議、取り組み内容の検討</li> </ul>
第2回	10月中旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会（高岡多職種ネットの活用事例の紹介）の内容検討</li> <li>・課題解決に向けた協議、取り組み内容の検討</li> </ul>
第3回	R9.1月中旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指標の評価</li> <li>・次年度の計画の方向性の検討</li> </ul>

※いずれも、水曜日もしくは金曜日、13時～14時に開催予定

## 高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会 普及啓発ワーキング部会 令和7年度の実施状況及び令和8年度実施計画（案）

### 1 目的

在宅医療・介護・障がい福祉サービス、「人生いきいきノート」等を活用した人生会議(ACP)等についての情報提供を行い、市民一人ひとりが、在宅医療・介護・障がい福祉サービスを受ける選択肢を持ち、人生の最期まで自身や家族が望む医療やケアを受ける人を増やす。

### 2 活動方針

- (1) 市民に在宅医療・介護・障がい福祉サービスの内容や手続きの流れ等についての正しい知識の普及啓発を行う。
- (2) 「人生いきいきノート」や「人生いきいきノートアプリ」を活用した人生会議(ACP)について、普及啓発の機会を設ける。

### 3 指標

- (1) 在宅医療・介護を受ける選択肢の認知度(在宅医療・介護に対する理解が深まった人の割合)  
※令和7年度介護予防・日常生活圏域ニーズ調査にて調査予定
- (2) ACPに関する理解度
  - ①人生会議(ACP)に関する講座の開催数・参加者数  
R6年度開催数 14回、参加者数 221人 ※R7年度は年度末に集計予定
  - ②「終活のために取り組んでいることはありますか」の問いに取り組みをしていると回答した人の割合 67% (R6)、65.5% (R7) ※TAKAOKA アプリによるアンケート調査
- (3) 人生いきいきノートの配付状況(人生いきいきノートアプリの登録者数)  
※年度末に集計予定

### 4 会議等の報告

	日時	会場	内容
第1回	5月29日(木) 19時～20時	高岡市急患医療センター 2階会議室	(1) 令和6年度の活動報告及び令和7年度の活動計画(案)について (2) 人生会議(ACP)の普及啓発について ・人生いきいきノートアプリの内容の検討 ・在宅医療・介護・障がい福祉サービスの住民への周知について (紙媒体は制度が変わるたびに印刷し直し、配布や取りに行くという手間があることから、デジタルで作成することに決まる)

第2回	9月25日(木) 19時～20時	高岡市急患医療センター 2階会議室	(1)在宅医療・介護・障がい支援ポータルサイトの作成に向けての検討 (項目、内容、文言等について検討) (2)人生いきいきノートアプリの検討 (今後の予定について)
—	10月～1月	メール等での意見交換、 情報共有	ポータルサイトに入れる内容や、市民に分かりやすい文言への修正、サイト内に示す他のサイトへの遷移先、バナーの等の検討
—	10月～1月	関係団体との調整	ワーキングメンバー等で関係機関・団体等にポータルサイトの内容について確認
—	11月30日(日) 午後0時30分 ～4時	高岡市ふれあい福祉センター	高岡市民健康フォーラムにて周知啓発 ・参加者数 265人 テーマ「健康寿命を延ばし、人生の最後まで自分らしい生活を送るために」 ①特別講演 演題:「健康づくり、そして終活—人生の最後まで自分らしく過ごすために—」 講師:医療法人社団ナラティブホーム 理事長 佐藤 伸彦氏 ②健康ブース:健康チェック、薬剤師、リハビリ専門職、看護師などによる健康相談、終活に関するコーナー等 協力団体:高岡市薬剤師会、富山県理学療法士会、富山県作業療法士会、富山県言語聴覚士会、高岡医療圏緩和ケア認定看護師会等
—	12月～1月	ポータルサイト構築作業	市役所関係課と連携し、ポータルサイトの構築作業
第3回	1月 書面会議		(1)在宅医療・介護・障がい福祉サービスのポータルサイトの検討 (最終校正、確認等) (2)令和7年度の活動報告及び令和8年度の活動計画(案)について

## 5 令和8年度会議開催計画(案)

	日程	協議事項(案)
第1回	6月	(1)活動計画の検討 (2)普及啓発媒体(人生いきいきノートアプリ、在宅医療・介護・障がい支援ポータルサイト)の住民への周知方法の検討
第2回	9月	(1)具体的な普及啓発媒体の住民への周知の検討 (2)課題の解決に向けての協議
第3回	1月	(1)指標の評価 (2)次年度の計画の方向性の検討